

谷原さんを見ない日があるだろうか。コミカルな姿からシリアスな表情までを演じ分け、司会進行をそつなくこなす。料理番組では手慣れた包丁さばきを披露する一面も。老若男女を魅了する男、谷原章介。いったいどんな人なんだろう?

♠ やんちゃ坊主、おしゃれに目覚める

港北ニュータウンの辺りで育ちました。造成される前、あの辺りは山で、森や川、田んぼがあって、カブトムシ、カエル、どじょう、クワガタなど、生き物ばかり追っかけていました。あと、タケノコを掘ったりして遊んでいました。やんちゃな子どもでしたね。

高校生の時は東横線の綱島駅を利用していたので、遊びに行くと言えば元町か渋谷。綱島はちょうど中間くらいだったので、「今日は渋谷に行こうか、元町に行こうか」みたいな感じでした。服が好きで、高校卒業後、セツモードセミナーという絵とファッションの学校に進学しました。物を作るのが好きで、デザイナーとか、ファッション関係の仕事に就きたかった。最近では子どもが幼稚園や小学校に持って行くバッグを作っています。今年小学校に上がった子は、僕が作ったものを普通に使ってくれるのですが、2年生と4年生のお姉ちゃんたちが「子どもっぽいものを使いたくない、新しいのがほしい」と言いましたので、生地を一緒に買いに行きました。「どうする?これとこれを組み合わせる?」って聞きながら作ってあげました。

♠ モデルから一念発起して俳優へ

専門学校では、まず絵を勉強し、2年生からはパターン学とか、ファッション学を勉強します。ちょうどそのころ「モデルをやらないか」と声をかけていただいて、ショーモデルの世界を見たらファッションの勉強に役立つかな、という思いでモデルの仕事を始めたのがこの世界に入ったきっかけです。結局、学業よりもモデルがメインになってしまいました。

ショーモデルで頑張りがかったんですが、雑誌の仕事が多くなりました。ただファッション誌の発行部数は、圧倒的に女性誌が多い。

男性誌と比べ10倍くらいの差があるのではないですか?稼ぎのメインになる広告も当然女性向け。男性は女性の添え物のような、例えば洋食のパセリみたいな感じの扱いなので、仕事の数が全然違う。広告の仕事がモデル業の収入になりますから「これやってたら俺、将来一家を養えないんじゃないかな」と不安になりました。そこで「一回勝負。役者にチャレンジしよう」と決心。役者の世界は、男も女も関係なく、均等にチャンスをもたらされるのではないかと、思ったんです。

僕はブレイクして人気の出た人間ではないので、地道に、地味にずっと続けていくことが今につながったと思っています。僕はお声がけいただいたら、スケジュールが合えば基本やります。やり続けるってことが実は一番大事で、一番難しいことなのかな、と思っています。

♠ 表現することの楽しさ

先日、ドラマ「犯罪症候群Season1」(東海テレビ・フジテレビ系)が終了しました。いよいよ6月11日から「犯罪症候群Season2」(WOWOW)が始まります。僕の演じる^{みづら}鑑木護は、闇に落ちてしまうキャラクター。殺人症候群にかかってしまった彼が、「誰か止めてくれ」という心の叫びを発しながらも止められない自分を抱え、物語が進みます。すごく好きです、この役。今までにない役どころなので、頑張りたいです。

地上波で表現できることと、有料メディアで表現できることは全然違うと思うんです。地上波のSeason1が光だとすると、有料メディアが放送するSeason2は影にスポットライトを当てます。そういった意味で、どう表現できるのかとても楽しみです。鑑木自身が抱える闇がどういうものなのか、ご覧いただく方にぐっと迫った作品になるとうれしな、と思います。

継続はかなり

Shosuke Tanihara

俳優・司会者・ナレーター
谷原 章介氏
Shosuke Tanihara

1972年、7月8日、神奈川県出身。1992年に「メンズノンノ」の専属モデルとなり、2年間務める。1995年、23歳の時に映画「花より男子」で俳優デビュー。その後テレビ、舞台、司会、ナレーターなど活躍の場を広げる。現在、「きょうの料理」(NHK Eテレ)、「パネルクイズ アタック25」(朝日放送)、「うたコン」(NHK総合)、「谷原章介の25時ではん」(TBS)、「犯罪症候群」(東海テレビ・WOWOW)に出演中。



ヨコハマ 想い vol.38

♠ 「横浜」が醸し出す「空気」

横浜の好きな所、それはもう、空気です。横浜に入った瞬間に「あ〜、横浜だな」って思うんです。何なんでしょう、この感覚は。わからないです(笑)。街の雰囲気、道の細さ、話している人の言葉、距離感。やっぱりどこか下町気質がある。都会のようで田舎な、この横浜の空気が僕は好きです。子どもを育てるようになって、年齢を重ねるごとに「横浜に戻ってきたいな」「自分が生まれ育った環境の中で子どもを育てたいな」って思います。

今も、週2回くらいは野毛に来ています。見かけたら声をかけてください。「あ、どうもどうも」って言いますから(笑)。僕らが高校生くらいの時、野毛はどことなく危険なおいのする繁華街、っていう印象でしたが、最近は観光地化しておしゃれになりましたね。

今は変わってしまいましたが、昔の黄金町の雰囲気、嫌いじゃなかったんですよ、猥雑で。米軍がいた、っていう名残ですから。あそこが全部なくなって、味気ない街になったなあ、と思ったりもしますが、その猥雑さが野毛にはまだちょっと残っている気がします。

10月に行われる横浜マラソンにももちろん参加します。毎年10kmに参加していましたが、いつも6キロ付近で膝が痛くなるんです。今年、リニューアルして6kmになるのでうれしくて(笑)。どんなコースを走るのかワクワクしますし、完走メダルのデザインがどう変わるかも楽しみです。皆さん、応援よろしくお祈りいたします!

WOWOW×東海テレビ共同製作連続ドラマ『連続ドラマW 犯罪症候群Season2』
6月11日(日)22時スタート ※第1話無料放送



介護付有料老人ホーム(入居時自立)
サンシティ横浜
神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町1625-1

緑の彩りに癒される安心の住まい
新しい高齢者マンション サンシティ横浜

各日2組様
参加無料
[要予約]

「個別見学・相談会」開催 6/7(水)~6/30(金)

ご希望・日程・お時間をご指定のうえ、下記お電話番号にお気軽にお申し込み下さい。

時間 11:00~ ランチ付 14:30~ ドリンク付き

集合場所 ◎「サンシティ横浜」現地集合

「横浜」駅・「東戸塚」駅より「サンシティ横浜」行きの無料のシャトルバスを毎日運行しております。

※ご来館方法については、見学会お申し込み時にご案内いたします。
※応募者の人数により日時を調整させていただく場合がございますので、ご了承下さい。
※今回の日程に参加できない場合は随時ご案内いたしますので、お電話にてお気軽にお問い合わせください。



見学相談会のお申し込み、資料請求はフリーダイヤルまで
0120-66-2526

受付時間/9:00~17:00 土日もお電話を受け付けております。
http://www.hcm-suncity.jp

サンシティ横浜 検索